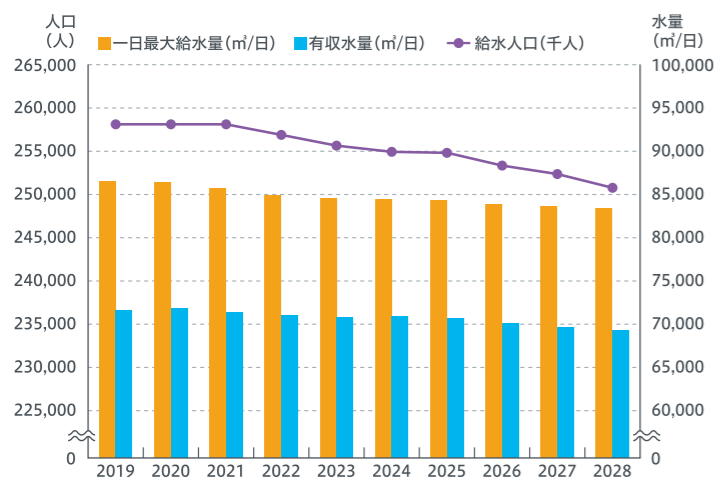


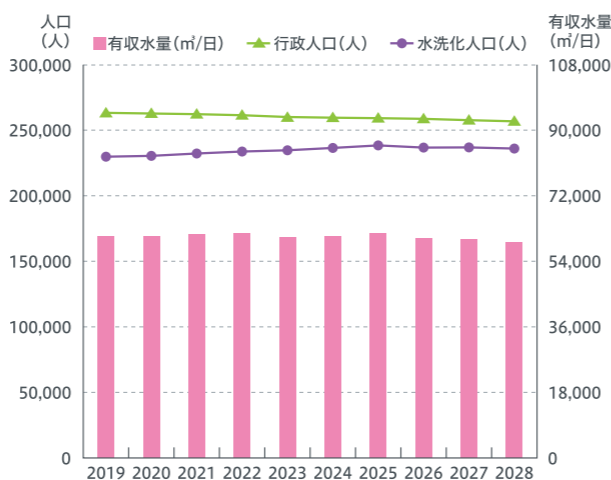
# 上下水道事業の経営

近年、水道事業及び下水道事業を取り巻く経営環境は、節水機器の普及、人口減少、ライフスタイルの変化に伴い水需要が減少傾向にある一方、老朽化した施設・管路の更新・耐震化などの多額の設備投資が必要となるなど、一段と厳しさを増しています。下記のグラフは水道事業及び下水道事業の将来の見通しを示したものです。

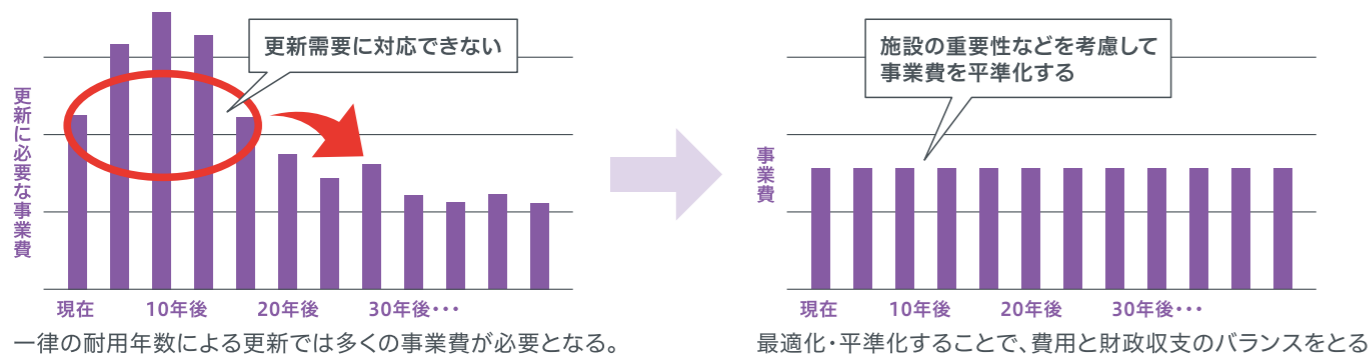
水道事業 給水人口・有収水量の将来の見通し



下水道事業 水洗化人口・有収水量の将来の見通し



水需要の減少に伴い、今後料金収入の減少が見込まれるなどの厳しい状況の中で、施設・管路の更新などを計画的に実行し、持続可能な経営を行うためには、長期的な視点で水道施設・下水道施設のライフサイクル全体にわたって効果的・効率的に管理運営する必要があります。そこで、使用可能な施設や管路等の設置環境や劣化度、重要度、維持管理状況などを勘案したうえで、更新サイクルを延長し、さらに更新費用の平準化を図るなど、アセットマネジメント※に基づく経営に取り組めます。



事業費の最適化・平準化のイメージ

※アセットマネジメント 中長期的な視点に立ち、施設のライフサイクル全体にわたって効果的かつ効率的に施設・管路を管理運営するために体系化された取組み。

# 災害に備えて

水道・下水道は、市民生活や地域の社会経済活動に欠かせないライフラインです。平常時はもとより、地震などの災害時においても一定の給水を確保するなど機能の維持を図るため、施設や管路の耐震化や自家発電設備の設置を進めるとともに、業務継続計画(BCP)に基づく訓練の実施、他の自治体や関係機関との応援協定の締結など、ハード・ソフト両面から対策を行っています。

## 給水車

災害・事故等により水道施設が破損して断水した時などに、病院・避難所等へ飲料水を運搬します。加古川市上下水道局では、1.8t車と2.0t車の2台を備えています。



## ボトルドウォーター「加古のめぐみ」

災害や断水への備えとして、飲料水の備蓄の重要性はますます高まっています。「加古のめぐみ」は加古川市の水道水を使用しており、10年間保存可能な災害用備蓄水です。被災地への支援物資としても活用しています。



## 非常用給水袋

断水時に水を配るための袋で6リットルまで水を入れることができます。付属の背負い紐を使うことで年齢を問わず持ち運びできます。



備蓄用の飲料水は3日分準備しよう。1人1日3リットルが目安だよ。

## 近隣市町との相互連絡管

加古川市と市域が隣接する明石市、高砂市、稲美町、播磨町には、相互に通水できるように相互連絡管を整備しており、災害時に水を融通できるように協力体制を整えています。



## 応援協定の締結

兵庫県や各市町、事業者などと災害等における応援協定を締結しています。



## 災害用応急給水栓

断水時に避難所においてできるだけ早く水道水を届けるため、市内の避難所26カ所に順次整備を進めています。簡単な作業で組み立てることができ、いち早く給水を開始することができます。



今までのページで紹介した水道の仕組み・下水道の仕組みも、防災対策につながっているんだよ

